

# 松風 ハリスオートマチックトーチ 取扱説明書

このたびは、「ハリスオートマチックトーチ」をご購入いただき、誠にありがとうございます。この取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用くださいますようお願い申し上げます。

ハリスのトーチは米国をはじめ、全世界に知られ使用されている伝統ある製品です。

ハリスオートマチックトーチは、特に歯科用の高合金の溶解が容易に行えるようにアレンジされたハイパワートーチで、ハリスの長年の経験と最新の技術が優れた性能や高度な安全性に活かされています。

## 【特徴】

### 1.ハイパワー

ニッケルクロムなどの高合金が酸素と天然ガスあるいはプロパンガスで容易に短時間で溶解できます。

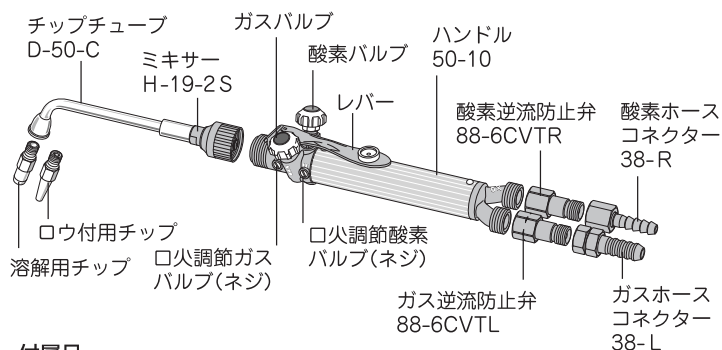
### 2.自動口火ハンドル付き

レバー操作ひとつで火をつけたり消したりでき継続的な作業に効率的です。(炎を消しても口火は残ります)しかも、その都度ガスや酸素を調節する必要がありません。

### 3.高度な安全性

逆火防止のため逆流防止弁が付いていますので、安心してお使いいただけます。

## 【各部・部品名称】



## 付属品

- 溶解用チップ 1個
- ロウ付用チップ 1個
- ホースコネクター締め付けレンチ 2本

## 【仕様】

本体 全長 約450mm (ホースコネクター含む)

質量 約630g

酸素圧 0.25MPa

ガス圧 1.5kPa (天然ガス・プロパンガス)

流量 溶解用チップ 4,200 L/h

ロウ付用チップ 300 L/h

※本仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

## 【組立および取り付け方法】

### 1.本体の組立

ハンドルとチップチューブに付いているミキサーを手で締め付け接合します。本体に酸素およびガス逆流防止弁とホースコネクターを、付属のレンチでしっかりと取り付けます。最後に、チップチューブ先端に溶解用チップを取り付けます。

### 2.酸素・ガスとの接続

酸素ホースコネクターに酸素のホースを、ガスホースコネクターにガスのホースを取り付け、必ずホースバンド等で止めてガスの圧力などで抜けることのないように注意してください。

## 【使用方法】

### 1.圧力の調整(圧力セット)

#### ①酸素

調整器(レギュレーター)の二次側目盛りを0.25MPaにセットしてください。医療用酸素レギュレーターは0.15MPaに固定してあるため使用できません。

#### ②ガス(天然ガス・プロパンガス)

使用圧力は1.5kPaですが、目盛りが無い場合が多いのでその時は、約0.01MPa以下にセットしてください。

### 2.トーチ内の空気抜き

①レバーを押しロックします。

②酸素側のバルブを開け酸素を出し、中の空気を抜いてからバルブを閉じます。

③ガス側も同様にバルブを開き、中の空気を抜いてからバルブを閉じます。

④レバーのロックを外し元に戻します。

### 3.口火の調節

①レバーはそのままガスのバルブを開けます。(2回転)

②酸素バルブも開けます。

③ガスおよび酸素が出ているようであれば、ハンドル横の口火調節バルブ(ネジ)を小さなネジ回しで右側に回して止めてください。(両方とも)

④口火調節ガスバルブ(ネジ)を少し左に回し(約2mm)、ガスを出して口火に着火します。

⑤着火した炎が1~1.5cmになるよう口火調節ガスバルブ(ネジ)を調節します。

⑥次に口火調節酸素バルブ(ネジ)を少し左に(約1mm)回し、酸素を出します。もし、出しすぎて炎が消えた場合は、ネジを閉めて再度ガスの調節からやり直してください。ガスだけの火に酸素を送ると色が変わります。

⑦これで口火の調節は完了です。調節したネジはそのままにして

①、②のバルブをガス→酸素の順に閉めてください。

### 4.炎の調節

①レバーを押し下げてロックしてください。

②ガスバルブを開け(2回転)ガスを出し火を着けます。

③酸素バルブをゆっくりと開け、酸素を調節していきます。

④調節後、レバーのロックをゆっくりと上げていくと、口火となります。また、本炎にする時はレバーをゆっくりと押し下げてください。(レバーの上げ下げは、ゆっくりと行なってください。急激に行くと炎が消えることがあります。)

※最初は要領がつかみにくいので、慣れるまではじっくり行なってください。

※ガスの出し具合、酸素の出し具合で、ボンボンと音が出ることがありますのでご注意ください。

### 5.ロウ付

チップを付属のロウ付用チップに付け替えてお使いください。

### 6.消火の方法

①ハンドルの酸素バルブを閉めます。

②同じくハンドルのガスバルブも閉めます。

③酸素ボンベの元栓を閉めます。

④再びトーチのハンドルの酸素バルブを開け、トーチとホース内の圧を平常圧に戻した後、酸素バルブを閉めます。

⑤酸素レギュレーターのレバーを反時計方向に回してゆるめておきます。

## 【使用上の注意】

①使用前にトーチ内部の空気は、酸素を出して抜き去ってください。

②チップチューブは1ヵ月毎に一度内部を掃除してください。

③チップは使用後にできるだけ掃除してください。

④ミキサーにもススが溜まりますので、1ヵ月に一度は掃除してください。

⑤万一逆火した場合、炎は逆流防止弁で止まりますが、弁が溶けることがあります。その時は新品と取り替えてください。

⑥チップ先端を溶解金属に近付けたり、直接合金に付けしないでください。ルツボ内の溶解金属から強い反射熱を受け、チップが溶けたりチップチューブ先端が溶脱するので特にご注意ください。



世界の歯科医療に貢献する  
**株式会社 松風**

本社 ●〒605-0983 京都市東山区福福上高松町11 ●TEL(075)561-1112(代)